

2012年1月6日  
公益財団法人ヤマト福祉財団

**[アクアマリンふくしま熱源設備改修復興事業]  
熱源装置の運用開始式を行いました**

2011年12月16日、公益財団法人ヤマト福祉財団(本部:東京都中央区、理事長:有富慶二、以下ヤマト福祉財団)「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の第一次助成先の一つ『アクアマリンふくしま』は、助成金8,000万円を活用して改修した熱源機器の本格稼動を記念する運用開始式を行いました。

福島県の観光シンボルとして多くの人に愛され続けるアクアマリンふくしまは、日本全国、世界各地の水族館の応援を得て、7月15日に再オープンを果たしました。しかし、津波による浸水で壊滅的ダメージを受けた熱源装置は未完のままでした。水族館の約9割の魚を飼育展示するには、水温・空調の管理が不可欠であり、熱源装置の改修は急務です。今回の工事で水温や空調管理が従来通り行えるようになり、熱帯魚などの南方系生物やアザラシなどの北の海の家獣や水鳥の飼育展示も安定して行っています。この水族館の心臓部ともいえる熱源装置は、以前よりも高い位置に設置され、津波被害を避ける配慮もなされています。



津波被害を避け、高い位置に設置された熱源装置



震災後に生まれたゴマフアザラシの赤ちゃん『きぼう』もすくすく育っています



年間100万人が利用する福島県の観光シンボル



12月16日に運用開始式を行いました